

文献検索法 2011/10/12 更新

各種データベースなどの位置を示した画像を含めたバージョンは以下 URL を参照。
<http://ooishi-lab.com/wp-content/uploads/search.pdf>

注意：以下の Web による文献検索は、文献検索の一部に過ぎません。
図書館や書店で現物に触れることを強くお勧めします。

I. 論文・書籍データの収集 (ステップ1)

※はじめから「II. 所蔵図書館で閲覧 (ステップ2)」の各種システムで探しても OK。

1. GiNii・CiNii

◆ 国立情報学研究所 (GeNii[ジーニー] :
国立情報学研究所 学術コンテンツ・ポータル)
まず、何はなくてもこのサイトを訪問すること！
<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>

◆ CiNii (サイニー)
<http://ci.nii.ac.jp/>
論文ヒット率が他のサイトよりもかなり高い！

2. Web of science

英語論文を探すには必須！PDF で全文が取れることが多い。
<http://www.lib.meiji.ac.jp/> (大学内のデータベースよりアクセス)
※明治大学は大学内 PC または、[VPN 接続](#) で自宅からアクセス可。
検索結果の中で、どの論文が一番引用されているかをチェックしてみよう。

3. 電子ジャーナル

ネットワークを通じて読むことができる学術雑誌。
<http://www.lib.meiji.ac.jp/search/journal/>
タイトルによっては目次だけではなく、
抄録(要約)や本文(Full text)まで表示することが可能。

◆ Magazine plus (雑誌・論文情報)
……日本語雑誌記事検索
テーマが決まったら、まずこれ！雑誌記事がわんさか。
論文も混じる。

4. Google Scholar

PDF ファイルで論文がとれるものもある。自分の論文さえ知らなかった！
また、「引用」も分かる。あれ！私の論文がこんなところに引用？
<http://scholar.google.co.jp/>
世界中の膨大な学術資料を収録。
※大学内 PC または、[VPN 接続](#) で自宅からアクセスするとより多くの情報を得られる。

5. 大学の研究所

◆ 大阪市立大学・経済研究所 (OCU ERI-Biblio)
……大学紀要論文などの検索には便利！
http://rdbsv01.ipc.media.osaka-cu.ac.jp/eri/search/php3/srch_top.php3
※2006年3月以降は更新なし。

◆ 関西学院大学産業研究所

<http://kgsaint.kwansei.ac.jp/sanken.html>

6. 「想」 -Imagine Book Search

「連想検索エンジン GETA」を利用した検索システム。
関連する情報を連想で収集して一覧表示する，全く新しい検索。
例えば「マーケティング」と入れると，それに関連した書籍まで検索してくれる。

<http://imagine.bookmap.info/index.jsp>

図書館の蔵書DB・神保町古書店の在庫DB・テーマ別新書ガイド・百科事典・博物館収蔵品DB・大学図書館DB・ジュンク堂書店の在庫DBなどから検索してくれる。

7. etc..

◆ 大石研究室のHP

マーケティング関係の参考文献ならここ。

<http://ooishi-lab.com/文献/参考文献一覧>

◆ 吉田秀雄記念財団「電通広告図書館」

……広告に関してはここ。

<http://www.admt.jp/library/>

◆ 雄松堂「欧文学位論文検索」

……有料だが，専門的研究には一考の価値あり。

<http://www.yushodo.co.jp/ydsc/index.html>

◆ 出版社のHP

Amazon.com : <http://www.amazon.co.jp/>

三省堂 : <http://www.sanseido-publ.co.jp/>

紀伊國屋 : <http://www.kinokuniya.co.jp/>

など

◆ 古本屋のサイト

日本の古本屋 : <http://www.kosho.or.jp/servlet/top>

◆ SSRN (Social Science Research Network)

経済学・経営学系の英語文献検索

ホーム : <http://www.ssrn.com/ern/index.html>

サーチ : <http://papers.ssrn.com/sol3/DisplayAbstractSearch.cfm>

II. 所蔵図書館で閲覧 (ステップ2)

ステップ1で，いくつかの資料がPDF形式で手に入ります。しかしweb上で手に入らない資料も多く存在します。そのような資料は図書館で入手しましょう。

1. 大学図書館

……図書館は知識の宝庫です！！

まずは各自の大学図書館を調べてみよう。

以下は，明治大学での検索法を示します。

WWW-OPAC (明治大学図書館蔵書一覧)

<http://opac.lib.meiji.ac.jp/>

ここで，かなりの文献は揃うはず。

2. 山手線コンソーシアム

山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム
<http://servw.lib.meiji.ac.jp/cross/index.jsp>
から見るができる。

コンソーシアム加盟校のみ利用可能。

3. NACSIS Webcat

◆ NACSIS Webcat

…文献（書籍・雑誌）が、日本全国どこの大学図書館にあるかが分かる。
自分の大学にない文献を探すのに便利。

<http://webcat.nii.ac.jp/>

◆ Cf: Webcat plus…「想」-Imagine Book Search のような検索ができます。

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

4. 国立国会図書館

…なにせ、国会図書館ですから蔵書量は最大。
書籍だけでなく論文検索も便利になった。
ただし、実際の貸出等には時間がかかるので要注意！

<http://www.ndl.go.jp/jp/data/opac.html>

III. 各種データの収集法（参考）

企業データ収集の方法はとても多く掲載しきれないので、ここではその一例を紹介。

1. 日経テレコン 21・LexisNexis Academic

※[明治大学外部データベース](http://www.lib.meiji.ac.jp/search/database/index.html)よりアクセス

<http://www.lib.meiji.ac.jp/search/database/index.html>

または、[VPN 接続](#)で自宅からアクセス可。

◆ 日経テレコン 21（日経 4 紙・企業情報）

…毎日クリッピングしていても、抜け落ちた記事が多くあるはず。
テーマがさらに絞れたら、これで日経 4 紙の記事検索をしよう。
テーマをかなり絞らないと膨大な記事が検索される。

Cf: ELNET（全国新聞・雑誌記事索引）

…地方紙などを調べるには便利。

◆ LexisNexis Academic

世界各国の新聞・雑誌記事や企業情報を掲載。企業分析に使える。

2. 日経 NEEDS

※明治大学学内よりアクセス

<http://www.lib.meiji.ac.jp/search/database/index.html>

…産業総合統計・商品市況データ

保険、金融を除く全国上場企業（東証、大証、名証などの 1 部、2 部）の企業データを含む日本最大規模のデータベースシステム。日本企業の分析はコレ。

全国のコンビニやスーパーの POS データからマーケットシェアや時期ごとに売れている商品の分析も可能。論文の実証分析に使用することもできます。

企業ごとの年次売上高の分析などにも大変便利!!

3. Mergent Online

※明治大学外部データベースよりアクセス

<http://www.lib.meiji.ac.jp/search/database/index.html>

または、[VPN 接続](#)で自宅からアクセス可。

米国上場企業約 15,000 社と米国以外の上場企業約 20,000 社の企業・財務情報データベース。

米国・欧州企業の分析はコレ。

詳細なデータ財務データが掲載されているのでオススメ。

4. アジア動向データベース

日本貿易振興機構（JETRO）アジア経済研究所のデータベース

一般公開されているが、最新 5 年分のデータは、学内 PC か、[VPN 接続](#)でのみ利用可能。

http://d-arch.ide.go.jp/infolib/meta/MetDefault.exe?DEF_XSL=FullSearch&GRP_ID=G0000001&DB_ID=G0000001ASIADB&IS_TYPE=meta&IS_STYLE=default

1970 年以降のアジア 22 カ国・地域における政治・経済情報を掲載。

地域・国別の動向分析レポート，主要統計等がある。

5. etc...

◆ 大石研究室 HP のリンク

<http://ooishi-lab.com/2010/09/マーケティング関連.html>

ここのリンクの中に，有益な情報を得られるソースが沢山あります。必見。

◆ 各社 Think Tank

例えば，[野村総研](#)や[日本総研](#)などといった所。

HP の検索 BOX から調べてみると，意外と無料で公開されている情報が多い。

海外の Think Tank にもあたってみよう。

<http://www.jmrlsi.co.jp/mdb/link/07-kokusai.html>

◆ その他

JETRO <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/data/index.htm>

内閣府の統計情報 <http://www.esri.cao.go.jp/>

RJC リサーチ統計リンク集 <http://www.rjc.co.jp/links/index.html> など。